



初登序する細川知事

特集

県民に信頼される県政を

細川県知事の所信表明から

今日のわが国の経済社会は、極めて厳しい環境のもとにあり、従って地方行政にとっても同様に試練の時代に当面しているとき、去る二月十二日に新しく細川護熙熊本県知事が誕生しました。

今後、経済社会の国際化と産業技術の高度化は一層進むものとみなければなりません。これに的確に対応していくためには、本県の

近年、経済の安定成長、人口の高齢化、高学歴化などわが国社会の成熟化が進む中で、環境、人的資源、経済力などを合わせた地方の総合的な評価はいくらか高まつてまいりましたものの、地方の時代という言葉が独り歩きしているという感があります。これからの時代は、このような可能性を踏まえて努力を重ねる地域とそうでない地域との間に大きな格差が表れてくる時代であり、その意味では私たちは極めて重大な岐路に立たされていると考えられます。

県民の英知を結集することによって、新しい可能性を大切にはぐくみ、十年後、二十年後に大きな飛躍を実現することができるか、

持つ優れた条件を基礎として、先進的な産業技術を積極的に導入し、特色ある地域経済の確立を図る必要があります。そこで新知事のこれからの県政運営と、重点的に推進しようとする主要施策などについての基本的な考えについて二月二十四日の本会議における所信表明から抜すい致しました。

それとも全国各地域の発展の陰で、長期にわたる停滞に甘んじなければならぬか、それにはこの転換期における県政運営の在り方と、それを支える県民皆様のご理解とご協力がなければなりません。

県として取り得る政策の幅は一段と限られたものになると思われまふ。そうした制約の下で、高い行政効果を挙げるためには、まず県政に携わる者が、県民の血税によって事業を進めるといふコスト意識を常に自覚し、県民に信頼される県民のための県政を確立することが大切です。また、事業の進め方や組織の運営についても、時代の要請に応じて勇気を持って見直すことも必要です。

今後、各方面からのご意見を十分うかがいながら行財政改革を進めます。

また、政策手段についても、従来以上に広く各方面の方々の意見を県政に反映させながら長期的な視点に立った県政の運営を進めなければなりません。

たくましい 農林漁業の確立

食糧問題は、今後の国際社会における最大の課題のひとつと云われていますが、幸い、本県の農林漁業は、これまで関係者の努力によって、全国でも最も先進的な地位を確保しています。しかし、先進農業国などからの輸入自由化の圧力が強まり、経営環境は一段と厳しくなっています。

こうした状況下で、明日に生きるたくましい農林漁業を確立するためには、積極的な技術の革新、熊本県産ブランドの確立、一次産品の加工・流通の高度化などを図って、就業者所得の安定を確保する必要があります。

農業については、順調に進んでいる基盤整備と、全国第四位を誇



若い後継者の意欲にこたえ得る力強い農業の実現を

る五万戸の中核農家などを基礎に、先進農業のモデルとなるパイロット農業地区をつくり、若い後継者の意欲にこたえ得る力強い農業の実現を目指します。

最新の技術と情報 による産業振興

わが国の産業は今、技術革新の著しい進展で、大きな変革を経験しています。新しい知識と技術に取り組み企業と地域だけが今後の飛躍を期待できると思えます。本県産業の将来にわたる今後の発展にも、技術と情報の高度化や国際的な競争力を培うことが必要です。

このために、技術振興対策等で、地元企業を育成強化し、積極的に先進企業の誘致を進めて、これら企業の有する技術と地場企業の活力との連携で産業の集積を高めたことを考えています。さらに、大学や国・公立の試験研究機関との連携で、本県における研究開発機能の充実を図ります。

最近、小規模ながら情報産業の立地をみる事ができましたが、既に、私が意図する方向での動きが始まっています。